

「笑顔で登校、笑顔で帰宅」をめざして 家庭・地域と協働する学校づくり

NO.35

コミュニティ スクール

# C S 通信

2025年10月7日

発行：布水中学校運営協議会

布 中 学 校 校 長 若 狹 朋 幸

地 域 学 校 協 働 活 動 推 進 員 塚 本 茂 樹

9月10日 「第3回 学校運営協議会」

4月から半年たち、学校もどのような運営で進んできたのか見えてきたと思いますので、お話を伺いさらにより良い学校にする協議にできればという会長あいさつから始まりました。

学校からの報告・連絡事項を聴き、各委員から授業を見ての感想、質疑応答などを行いました。英語の授業を見ていて、プロジェクターから映し出されたホワイトボードをタッチペンでパッパッと簡単に説明していたり、音声や映像を使ったりして、授業を進めるのを見てICTがもう本当に日常茶飯事になったなと感じました。デジタルが進むのはいいのですが、アナログ的なところも大切であり、たとえば手書きでのメッセージなども必要と感じ、これからの課題だと思いました。

体育の授業を見させていただき、バレーボールの授業を行っていました。子供たちが生き生きと楽しそうにやっていました。先生も若く和気あいあいとやっていていい雰囲気でした。

多目的ルームなどのダンス練習を見ていたのですが、狭いところで踊っているので、隣とじゃれあっているように見えました。狭い教室でやっていて廊下にもはみ出していくのでしょうかけど、もっと広い場所で練習させてあげたい。体育館がもう一つ必要ですね。

数学の授業が少人数制で行っていて、ついていけない子にとってあのような授業はとてもいいと感じました。

これからは、コンピューターに伝える論理性とかが必要になってくるのかな、デジタルの使い方というのもポイント。AIとかチャットGPTを使うしても、語彙力が必要です。読書による行間を読むというアナログ的な部分もこれから重要だと思います。また、ゲームを楽しむより、楽しめるゲームを作るプログラミングの授業が必要になってくるかもしれませんね。

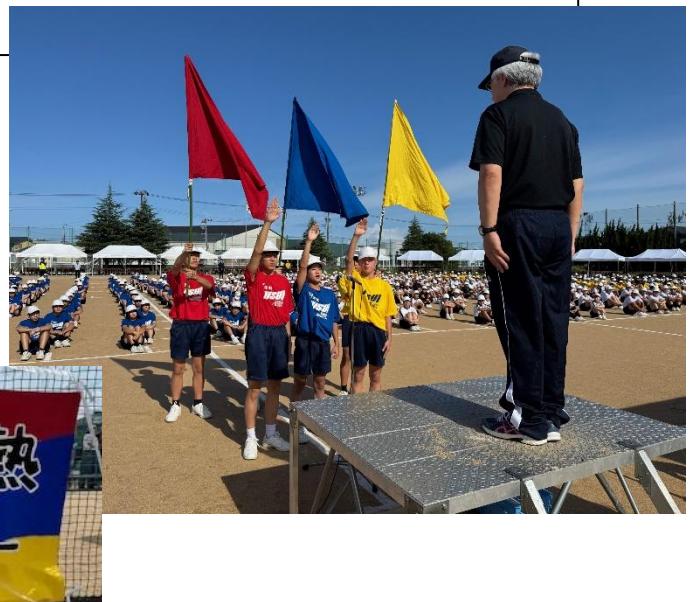
今回の協議会は、前期学校関係者評価についての報告及び助言が中心でした。この結果については、学校のホームページに掲載されますので、そちらの方をご覧ください。

その他として、8月24日に開催された「SOSの受け方講座」は、来年度も同時期に開催するとの報告がありました。

## 10月2日 「第42回 布水中学校運動会」

前日は雨天のため、順延され本日開催されました。おかげでグランドコンディションは最高で砂埃も舞い上ががらず、風も涼しく最高の運動会日和でした。青・黄・赤 各団の競技・応援も素晴らしい、来賓席にいた主任児童委員の方も思わず、お孫さんを見つけると必死に応援していました。そして、表彰式が終わり講評で2年生の道徳教材の話があり、その中でクラス対抗の大縄跳びをあるクラスが全員で挑むかどうかを協議し全員参加になったエピソードが紹介されました。そういう意味でも、スローガンである「青春、歓喜、情熱～全員主役、全員スター～」が、達成されたと思います。

そして、校長黒板に書いてある「歓喜と緩急 そして・・・」まさに、今日は「歓喜と緩急 そして・・・」生徒たちは「・・・」にどんな思いを込めた帰宅したのか、ちょっと気になります。きっと、ワクワクする言葉を持ち帰り、家族との会話につながるのだろうと思います。



## 「笑顔で登校、笑顔で帰宅」

をめざして 家庭・地域と協働する学校づくり

地域学校協働活動推進員 布水中学校担当の塚本 茂樹です。

この「C S通信」はコミュニティースクールとして、活動したことや活動していくことを含め私自身が中学校内で、感じたことを保護者や地域の皆様へ発信していきたいと思います。

もちろん、中学校という教育機関の中で起こることですので個人情報などには充分配慮し、校長の許可を得たもののみを発信しています。

お問い合わせは

布水中学校運営協議会

地域学校協働活動推進員 塚本 茂樹

E-Mail :

[fusuuyu\\_csd@ed.city.nonoichi.ishikawa.jp](mailto:fusuuyu_csd@ed.city.nonoichi.ishikawa.jp)

まで、メールでお願いします。